

第3学年 社会科学習指導案

日 時 平成20年11月20日(木) 5校時
学 級 3年A組 男子17人, 女子12人 計29人
授業者 前 田 広 一

1 単元名 第4章 わたしたちの暮らしと経済 第1節 わたしたちの生活と経済

2 単元について

(1) 学習内容の概観

本単元は、経済活動の意義について消費生活を中心に理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。また、現代の生産の仕組みや金融の働きについて理解させるとともに、企業の役割と社会的責任について考えさせる。さらに、国民生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割についても考えさせる。

具体的には、身近な消費生活を中心とした経済活動、消費者の権利と保護、生産と流通のしくみ、市場のしくみと価格の働き、金融の働き、税や財政の働き、社会保障と国民の福祉、公害の防止と環境保全、日本経済の課題などの学習を行う。

(2) 生徒の実態

全体的に落ち着いて学習に取り組むことができる学級である。授業時の発言はあまり活発ではなく、発言する生徒が限られている。しかし、グループの活動を行わせると発言が増え、積極的になる生徒がいる。発言の中にも既習事項を背景に発言できる生徒もいれば、強く要求しなければ発言できない生徒もいる。それらの発言をうまく拾いあげたり、実際に活動させたりする場面を設け、達成感のある授業になるよう工夫・配慮していきたい。

(3) 指導の構想

本単元は、経済活動を扱う。経済活動が我々の社会生活と密接な関わりを持ち、人間生活の維持や向上に欠かせないものであるといった意義を身近で具体的な事例を通して理解させるとともに関心を持たせることができるよう工夫する。また、統計や図などの資料を読み取ったり、それらの資料をわかりやすくまとめ、表現したりする学習を通して経済的な事象をとらえる見方や考え方の基礎を育てる指導を行っていきたい。

(4) 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための本単元での取組

本単元では、必ず導入の前に前時に学習した基礎的・基本的な内容の小テストを実施し、知識の習得を図りたい。また、具体物や具体資料を活用し興味・関心を持たせながらの指導を工夫したい。まとめとして授業の終末には確認の復習問題を行い、本時の基礎的・基本的な語句の確認をし、「自分是可以る」という実感を毎時間もたせるようにしたい。更には自己評価カードで振り返りを行うという学習指導を継続して行うようにしたい。

3 単元の目標

- (1) 消費者として経済活動や現実の経済に対し関心を持ち、経済上の諸課題を意欲的に学習しようとしている。 【社会事象への関心・意欲・態度】
- (2) 具体的で身近な事例から学習を発展させ、経済活動が社会生活にさまざまな面でかかわりを持っていることをふまえ、経済上の諸課題について自ら考え、さまざまな立場から公正に判断することができる。 【社会的な思考・判断】
- (3) 個人や企業の経済活動についてさまざまな情報手段を用いて自分の考えをまとめたり、わかりやすく発言や発表を行うことができる。 【資料活用の技能・表現】
- (4) 身近な消費生活を通して、経済活動の意義や生産・流通・消費といった経済のしくみを理解するとともに経済活動がわたしたちの生活と密接なかかわりがあることに気づかせる。 【社会的事象についての知識・理解】

4 単元の評価規準と指導計画

時間	項	評 価 規 準			
		社会的事象についての関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
1	ハンバーガーショップの経営者になってみよう!	○事例から、経済への興味・関心を高めている。	○経営者、消費者の立場から経済活動における選択について考えることができる。		
本時 1	消費と貯蓄	○生活の計画づくりの活動を意欲的に行っている。	○出費選択の理由を説明することができる。		○家計における所得と消費と貯蓄の関係を理解している。
1	消費者の権利と保護	○消費者主権と消費について関心を持ち意欲的に学習している。	○消費者の権利と保護について各々の立場から公正に判断することができる。		
1	流通のしくみ	○商品の流通経路と流通の合理化について意欲的に学習している。	○流通に携わる業者の役割や合理化の課題について公正に判断することができる。		○生産と消費の仲立ちとしての流通のしくみについて理解している。
1	生産のしくみ	○株価が変動する原因を積極的に探ろうとしている。	○企業の役割と社会的責任について多面的・多角的に考えることができる。		○資本主義の大まかな特徴と株式会社のしくみを理解している。
1	市場経済のしくみ	○身近で具体的な事例を通して商品の価格の決め方を考え、経済について関心を高めている。	○いろいろな資料から商品の価格の有無とその理由、需要と供給の関係を多面的・多角的に考察している。		○企業や個人の生産・消費といった市場経済のしくみや価格の決め方、影響について理解している。

1	市場と価格		○独占価格の影響や公共料金が設けられている理由を多面的・多角的に考察している。		○価格には人的・物的資源を効率よく配分するシグナルの役割があることを理解している。
1	金融のはたらき	○金融機関やカードの利用といった身近な事例を通して、金融の働きと役割について興味・関心を高めている。			○金融機関が家庭生活や企業活動の中で仲立ちをしていることを理解している。
1	働く人たちの生活向上	○資料読み取りや意見交換を通して、職業や仕事に対する関心を持ち、生き方や進路を考えようとしている。	○労働における諸問題を、消費者、生産者、労働者などさまざまな立場から構成に判断している。		
1	政府の仕事と租税	○社会資本や税について関心を持ち、政府の経済活動や租税の意義、税金の使い道について、自分たちの問題として考えようとしている。	○租税の意義と役割、納税の義務について国や地方公共団体、消費者、生産者、納税者などさまざまな立場から公正に判断している。		○税制の大まかなしくみとその役割について理解し、その知識を身に付けている。
1	財政のはたらき	○財政に関する課題学習を通して、自分たちの暮らしと財政の関係について関心が高まっている。	○統計資料などの読み取りを通して、財政の課題と限られた財源の望ましい配分について、多面的・多角的に考察している。	○日本の財政のあるべき姿について、諸資料をもとに自分の考えをわかりやすく発表している。	
1	社会保障と国民の福祉	○聞き取り調査を通して福祉の仕事や高齢社会について関心を持っている。			○社会保障の基本的な考え方と日本の社会保障制度の概略を理解し、その知識を身につけている。
1	公害の防止と環境保全		○環境を守るためにどう行動したらよいかについて、国や地方公共団体、企業、個人などさまざまなレベルで考察している。		○公害の発生と原因、それにとまなう環境汚染や自然破壊の問題について理解している。
1	日本経済の課題	○日本経済の特徴や経済の諸課題に関心を持っている。	○経済活動の意義や今後の社会のあり方について多面的・多角的に考察している。	○資料を適切に収集、選択し、まとめたり、説明したりしている。	

5 本時について

(1) 本時の目標

- ・ 生活の計画づくりの活動を意欲的に行うことができる。

【関心・意欲・態度】

- ・ 出費選択の理由を説明することができる。

【思考・判断】

- ・ 家計における所得と消費と貯蓄の関係を理解することができる。

【知識・理解】

(2) 指導の構想

必ず授業の最初に前時に学習した基礎的・基本的な内容の復習問題に取り組みせ、知識の習得を図りたい。また、具体物や具体資料を活用し興味・関心を持たせながら、本時で学習する消費と貯蓄についての導入を図りたい。まず最初に、商品の選択にはさまざまな要素があること、またその基準が条件により異なることを理解させる。生徒同士で関わらせ気づきが得られるよう支援をし、課題解決へと導きたい。そのためには消費支出の振り分けをただするのではなく、収入に応じて予算をたて消費と貯蓄の配分を考え消費活動を行うことに気づかせられるよう工夫していきたい。

また、終末時には振り返りの手だての1つとして、確認問題と自己評価を行うことにしたい。

(3) 具体の評価規準と評価方法

観 点	具体の評価規準		努力を要する生徒の指導の手立て	評価方法
	A	B		
○ 生活の計画づくりの活動を意欲的に行うことができる。 【関心・意欲・態度】	○生活の計画づくりの活動を意欲的に行い、発言も行っている。	○生活の計画づくり活動を意欲的に行うことができる。	○興味・関心を高められるよう個別に支援する。	○発言、学習シートや自己評価カードで判断。
○選択基準の理由をあげ説明することができる。 【思考・判断】	○出費選択の理由を的確な根拠をあげ、具体的に説明することができる。	○出費選択の理由を説明することができる。	○課題解決の話し合いに参加できるよう支援を行う。	○発言、記述の仕方、学習シートや自己評価カードで判断。
○家計における所得と消費と貯蓄の関係を理解している。 【知識・理解】	○所得をもとにした合理的な消費活動を選択することができる。	○所得と消費と貯蓄の関係を理解することができる。	○具体例の記入が行われているか支援・指導を行う。	○発言、記述の仕方、学習シートや自己評価カードで判断。

(4) 展開

	学 習 内 容	時間	学 習 活 動	○評価項目と●留意点
導 入	1 小テストの実施	5分	1 小テストに取り組む。 [基礎・基本の定着]	○正答数の自己評価の確認をする。 ●課題への意欲付けを図る。
	2 学習課題設定への導入	5分	2 学習課題への導入を行う。	
	3 学習課題の設定		3 本時の学習課題の確認をする。	
1ヶ月20万円生活をしよう！				
展 開	4 学習内容の確認	5分	4 所得20万円にはどんな使い道があるか。基本事項の確認をする。	●個別の発言をもとに基本事項の確認をする。
	5 学習課題の解決	25分	5 1ヶ月の計画を立て、班ごとに発表しあう。 [生徒同士の関わり] ・出費をカード選択制と自由配分制にし、計画を作らせる。 ・作成した計画をもとに班内で発表する。 ・他者の発表を聞き、他者の生活設計から学ぶ。 ・収入をもとにした予算にしたがって行う消費活動の重要性をとらえさせる。	●つまづいている班や生徒を支援する。 ○意欲的に調べ、発表に取り組んでいるか。 ○計画を作成し、出費選択の理由を述べたりしているか。 ●用紙に記入し、根拠をはっきりさせて発表する。 ●他の人の発表もきちんと聞くようにする。 ○所得と消費と貯蓄の関係を理解しているか。
終 末	6 学習のまとめと確認問題	7分	6 穴埋め確認問題を行い、本時のまとめとする。 [基礎・基本の定着]	●机間巡視し、進度を見て解答を行う。
	7 ふりかえり	3分	7 自己評価する。	●本時を評価し、次回につなげられるようにする。
	8 次時の予告		8 次時の予告の確認。	